

## 「田植え体験」レポート

- 1 実施日：令和元年5月18日（土）
- 2 実施場所：アグリヘルシーファーム
- 3 実施内容：
  - ①アグリヘルシーファームの専門担当者の指導による田植え体験
  - ②野菜収穫体験
  - ③かまどで炊いた、炊きたてごはんの試食
- 4 当日の様子

参加者は兵庫県内の小学生とその保護者 10組 20名。

場所は篠山市味間地区。篠山盆地の西の端に位置し、緑に包まれた美しい農村で、お茶の栽培も盛んなところです。

当日の気温は約 20℃と、田植え作業には適した気温での体験となりました。



朝の早かった参加者もいましたが、みんな元気で現地に到着しました。

まずは、専門家の方からごあいさつ



田んぼに入る前に、田植えのやり方や注意点などのお話が。苗を少しずつ指でつまんでそっと差し込んでいくのがポイントだそうです。そしていよいよ、靴を脱いで田んぼの中へ。「冷たい！」とどこからともなく声があがります。



田んぼの一部にあらかじめ田植機で植えてある列を目標にして、まっすぐ植えていきましょう！

田んぼの中では、上手く歩けないな～。



「経験者」もいるみたいですが、子どものほとんどは初めての田植え体験です。植え方がわからず戸惑ったりする姿もありましたが、時間とともに作業に慣れ、とても楽しそう！子どもとその保護者が助け合い、協力しながら作業をするうちに、絆も深まります。





田植えのあとは、畑に移動して、たまねぎときぬさやの収穫体験です。「よいしょ、よいしょ」と青々とした葉っぱを引っ張ると、ころりとたまねぎが顔を出します。



頑張ったから、みんなお腹ぺこぺこ・・・。お昼ごはんは、アグリヘルシーファーム自慢のお米をかまどで炊いたふっくらごはん。

かまどで炊いたふっくらごはん。「甘くておいしい！」と好評！！



子どもは元気！！。 大人は少し疲れた様子？  
ご自宅まで無事に帰って下さい。



今日植えた稲はすくすく育って、きっと秋にはたわわに実るでしょう。  
秋の稲刈り体験が待ち遠しいですね！